

「宮崎銀行ふるさと振興助成事業」の受賞先は今

～受賞企業からの発信～

【第22回】



A ASSISTYOU

2012年度 産業開発部門 受賞

株式会社 アシストユウ (宮崎市)

代表取締役社長 小幡 小百合 (おばた さゆり)

移動式ネットワークカメラ「MICS『モニタリングミックス』」は、簡単起動、耐久性、配線工事不要など、他にはないオンリーワンの製品として成長が期待されている。

所在地：宮崎市新別府町前浜1401-30
TEL 0985-83-4217

1. “出会い”そして“つなぐ”

私一人から起業して創業27年目。会社の経営理念である“イノベーション&プロフェッショナル”をかけた、少数精鋭のプロ集団として、ニッチトップを目指し、“出会い”を大切に今日まで“つないで”きました。

当時、宮崎ではまだ普及してないCADに特化した設計施工図作成を手掛けました。その後すぐに、数億円規模のホテルのCADでの電気施工図製作の依頼を受けました。私は機械設計出身なので厳しいと感じましたが、とにかくCADで図面を書いて欲しいとの依頼で、最初の仕事がスタートとしました。

数年間は順調でしたが、時代の流れと共にCADが普及し、企業内での社員のCAD習得も進んだことから図面依頼は激減しました。そこで現業である電気設備業に特化したソフト販売（見積積算・原価管理・電気専用CAD）・指導・コンサルタント業にシフトしていきました。

そしてこの事業を基盤に、世の中にないものを作ろうと、大手電機メーカーでの研究開発経験を活かし、14年前、ものづくりの新事業である移動式ネットワークカメラ【MICS「モニタリングミックス」】の自社開発に着手しました。

下記は現在の移動式ネットワークカメラ“MICS-AI”です。現在は、全国約1,000カ所以上のゼネコン・自治体の現場で使われています。さらには海外へ進出し、ベトナムやインドネシアでも実績を作ることができました。



写真：MICS-AI
NETIS登録製品 QS-110023-VE

2. MICS『モニタリングミックス』とは

<特徴>屋外仕様で電源を入れるだけで、3分後にはネットで映像確認・録画・画像解析ができる商品です。

モニタリングミックス 特徴



1. オールインワン



※設置工事・技術者いらず電源を入れるだけ

2. 移動式（屋外仕様）



※ドコモ携帯エリアならOK

3. メンテナンスフリー



※耐久性が高いハウジング仕様
※実績ベースで約10年間ノーメンテ

4. 海外事例（ジャカルタ）



※車に搭載して工業団地内のパトロール用

3. 助成にまつわる話題

商品化した時は「こんなもの売れないよ」と言われ、それでも懲りずにあらゆる県内・県外展示会に出展し、これでもかと挑戦し続け、3年がかりでようやく経済産業省の新連携認定を受け、それが基盤となり現在まで発展し続けています。

その時代はまだ現在のネットワーク通信（4G）が整備されておらず、販路展開は厳しい現状で、「発想はいいけどね…」と言われ続けました。

そこで、世間に認められる会社にする為にはまず自社の信用を得ることが必須と考え、国の認定を取得し、商品価値を高め会社に信用をつける為の印籠を手に入れました。それが「NETIS-VE」という国土交通省の新技术情報提供システムにおける最高ランク認定です。

その後「MICS」は国土交通省「NETIS」のランキングで、3年連続トップをとる事ができ、宮崎から全国への道を作り上げることができました。

しかし、何ら知名度もない会社のもので、宮崎から全国展開をするには、大変な時間と資金が必要となります。

様々な国の補助金を使った商品開発支援を受け、宮崎銀行ふるさと振興助成事業の産業開発部門に応募し、厳しい選考の上、3回目の挑戦で受賞することができ、開発に拍車がかかりました。

4. 出会い

どの企業も物を作ることはなんとか出来ますが、売ることが困難です。そこで次に人脈であり、現在の全国・海外展開への大きな要因を占めています。

出会いからなる人脈と信頼を築くには、何年もかかります。その出会いにより、県の助成金認定や宮崎銀行の資金援助を活用しながら、全国に打って出ていくなかで、国の認定事業・国の販路支援事業などを徐々に知る事ができました。

宮崎初となる販路拡大支援を経済産業省から受けることができたことで、大手会社トップとの直接交渉ができ、営業が容易になりました。まさにそこにたどり着く事が出来たのは、幸運と辛抱強さと補助金などの資金援助があったからです。

地方の小さな会社の諦めない精神に対し、周りから手を差し伸べて頂いた事への感謝は計り知れないものです。

この信頼にさらに応えるべく、全国展開を加速させ、現在では海外への展開も実績ができました。また、コロナ禍というパンデミックな世界になり、倒産・縮小が続く中でも、今度は九州全域ネットのテレビ番組に取り上げられ、コロナ禍でも発展し続けることができるのも、諦めず挑戦し続ける精神があるからです。

5. 現在の状況

コロナ禍になり、人手が足りない・現地に行けない・人との接触ができない状況下、セキュリティ監視が急務となり、カメラ需要が急速に進み、更に第5世代移動通信システム（5G）に移っていく中で、安全確認をAIが代わりに判断して通知してくれる画像解析が、今後主流となります。そのような中、他社に先がけて着手した自社開発の画像解析搭載移動式ネットワークカメラ“MICS-AI”を全国・海外へと販路拡大を加速させます。また、自然エネルギーでの電源供給開発にも着手しています。

6. 現在の課題

やはり、技術者不足が今一番の課題です。“MICS-AI”が大手と競合するなか、弊社しかできない技術（ニッチトップ）を作り上げる上で、様々な専門知識の不足を感じており、さらにコロナ禍での営業人材育成が厳しい状況です。

7. 将来の展望

現在、世界は第4次産業革命というAI・ビッグデータ・IoTという新たな時代に入り、弊社は数年前からそれに向かって“MICS-AI”（画像解析搭載）をどこよりも早く手掛けています。

弊社の経営理念のイノベーションは、まさにこの時代にぴったりの言葉となり、ものづくりで宮崎から全国・海外へ10人と少ない人数での少数精鋭でニッチトップを目指す会社にしていきます。